

日本共産党 西宮市会報告

2015年1月 NO.99

発行/ 日本共産党西宮市会議員団 西宮市六湛寺町10番3号 (西宮市役所内)
Eメール: nmc30547@nishi.or.jp TEL.0798-35-3368 FAX.0798-22-7815
ホームページ http://nishinomiya.jcp giin.net/

2015

今年もがんばります

日本共産党

躍進の力で 安倍暴走政治ストップ!

お気軽に ご相談ください



杉山たかのり

団長
建設常任副委員長
☎35-1682



佐藤みち子

幹事長
市民文教常任委員
議会運営委員/農業委員
☎42-2856



上田さち子

総務常任委員
アサヒビール跡地問題特別委員
都市計画審議会委員
☎35-2813



野口あけみ

厚生常任委員
議会改革特別委員
社会福祉審議会委員
☎34-7329



まつお 正秀

総務常任委員長
☎73-0775
(市外局番は0798)



12月市議会では、総選挙と同
時並行で開催されました。
消費税増税、年金・医療・
介護・保育などの社会保障の
改悪、アベノミクスによる物
価高騰など、安倍自公政権の
暴走はどれも市民のくらしを
直撃。閣議決定での解釈改憲
による集団的自衛権行使容認
や秘密保護法、金権政治と政
党助成金は、市民の危機感と
怒りを広げるものとなりまし
た。

学校給食費値上げなど 消費税増税に 追い討ち

学校給食費が、アベノミク
スの円安と消費税増税による
食材の高騰で、1食あたり小
学校は15円、中学校は17円の
値上げになります。
また、2015年4月から
国民健康保険料の内、後期高

齢者支援金分と、介護納付金分
の賦課限度額(上限額)がそれ
ぞれ2万円引き上がり、最高額
年77万円が81万円になります。
所得500万円以下の世帯は
保険料が若干下がりますが、高
額所得とはとても言えない所得

総選挙は、低投票率、自民党
の議席減、「第三極」が衰退す
る中、安倍暴走政治と唯一真正
う結果を示しました。
面から対決する日本共産党が8
議席から21議席に躍進するとい

介護保険 「改悪」の上に 保険料値上げも

600万円程度で
上限に達し、負担
増になります。
日本共産党市議
団は、値上げ条例
に反対しました。

新年度に大きく「改悪」さ
れる介護保険。介護保険料も
上がります。基準額が現行月
額4947円から5300円
5500円程度となる見込
み。

応能負担を強めるため保険
料段階は12から14段階に、ま
た制度導入以来はじめて、国
による低所得者の保険料軽減

策が創設されますが、利用料2
割負担(本人合計所得160万
以上)の導入とともに、多くの
高齢者に負担のしかかります。
要支援1、2の方への訪問、
通所介護を、NPOやボランテ
ィア等による新総合事業に移行
させるのは、2年の準備期間を
へて17年4月から開始する、と
しています。



一般質問 高学年学童 新年度モデル実施へ



野口あけみ議員

2015年4月から始まる「地域子ども・子育て支援事業」に留守家庭児童育成センター（学童保育）が位置付けられ、市の実施責任が認められます。また、対象年齢が3年生以下から、6年生までになります。

野口あけみ議員は、14年6月議会で、「待機児童があるセンターなどで実施は困難だが、せめて4年生を対象に、条件のあるセンターからモデル実施してはどうか」と求めました。

野口議員は、「待機児童があるセンターなどで実施は困難だが、せめて4年生を対象に、条件のあるセンターからモデル実施してはどうか」と求めました。

12月議会での再度の質問に当局は、「新年度は現在の施設に余裕のあるところから、男女別トイレなどの設備改修を検討し、まずは一番ニーズの高い4年生を対象に、夏休みなど長期休業中のモデル実施を進める」と明言しました。

日本軍「慰安婦」問題は「侵略戦争」反省の試金石

野口議員は、重大な女性の人権侵害であり、日本の侵略戦争への認識も問われる「日本軍」慰安婦問題についても質問。

野口議員は、重大な女性の人権侵害であり、日本の侵略戦争への認識も問われる「日本軍」慰安婦問題についても質問。

野口議員は、重大な女性の人権侵害であり、日本の侵略戦争への認識も問われる「日本軍」慰安婦問題についても質問。

野口議員は、重大な女性の人権侵害であり、日本の侵略戦争への認識も問われる「日本軍」慰安婦問題についても質問。

政務活動費 2割削減が実現！

号泣県議を契機に再度注目されることとなった政務活動費。西宮では議員一人月額15万円が支給されていますが、12月の議会改革特別委員会で、2割削減が決定されました。（政新会と市民クラブ改革が反対）

党市議団は阪神間や他の中核市と比較しても高すぎると、一貫して削減を求めています。



まつお正秀議員

借上げ住宅、県下で最も冷たい方針変更を

まつお正秀議員は、党議員団として12回連続となるUR借上げ市営住宅問題で質問。

借上げ住宅では、人工透析が必要な人や認知症

など、病気の方たちが増えつつあることを紹介し、希望者全員の継続入居を求めました。

兵庫県では継続入居の基準に、さらに柔軟に対応しようとしていることに比べ、住民に寄り添う姿勢のない市を厳しく追及。庁内連携会議やアドバイザー会議で住民の個々に抱える問題に丁寧に対応するというものの、

その会議さえ、まともに開催されていないことを明らかにしました。

武庫川沿いのJR旧福知山線ハイキング道は、宝塚市側ではJRから無償貸与を受けて整備されていますが、距離の長い西宮市側はJRの所有のまま市が貸与も受けていないため立ち入り禁止の看板が設置されています。それでも年間6万4000人近くの方が訪れています。

また、市長が、このハイキング道は豊かな自然や産業遺産としても貴重だと答弁したことから、立ち入り禁止の看板をなくし、整備するよう、JRと真剣に協議をすべきと求めました。

旧福知山線ハイキング道、JRと早期に協議を



公立幼稚園は今後どうなるの？

公立幼稚園の2015年度から18年度までのあり方について、次のような方向性が示されました。

- ・保育料は定額制から応能負担に変更。（8割の世帯で値上がり）
- ・13ブロックに原則1園配置から8ブロック1園配置が適正と、公立幼稚園を削減。
- ・午後保育を週3日から4日に拡充。
- ・2015年度に預かり保育や認定子ども園導入を検討。
- ・2017年度より4歳児の希望者が多い地域で複数学級設置の検討。

教育委員会は保護者の希望の多い3歳児保育については実施しないと言い切っていますが、公立幼稚園は減らさず、多様なニーズに応えるべきです。